

Topic  
01

## 「動物と触れ合う時間」を届けませんか？



子供たちに「動物と触れ合う時間」を届けませんか？近年、子供が動物と接する機会は確実に減っています。学校飼育動物は全国的に減少し、動物園のふれあいコーナーも猛暑などの影響で縮小が続いています。私たちが子供の頃にあった「動物との時間」が、今の子供たちから失われつつあります。

Topic  
02「動物とのふれあい」  
が育てる子供の力

しかし、動物とのふれあいは、子供の成長に大きな力をもたらします。

- ・非認知能力(自分で考え、やり抜く力)が育つ
- ・言葉の通じない相手だからこそ、相手の気持ちを読み取る力が育つ
- ・いつもそばにいてくれる存在が、自己肯定感を支える
- ・世話を通じて、責任感を学ぶ

こうした小さな「気づき」や「思いやり」は、やがて社会全体を支える大きな力になります。野生動物との適切な距離の取り方、生態系への配慮、地域の環境問題、どれも”相手を思いやる視点”があってこそ、より良い解決策が生まれます。

Topic  
03

## 命と向き合う責任

一方で、ペットを飼うことは簡単なことではありません。命を預かる責任があり、時間も手間も、費用もかかります。だからこそ「かわいいから」だけで飼うのではなく、家族みんなで【飼い主としての心構え】を持ち、最期まで寄り添う気持ちが必要です。それでも、子供たち



にとって、動物と共に過ごす時間がかけがえのない学びであることは変わりません。

Topic  
04

## 社会全体で支える「動物との学び」

だから私たちは「すべてを家庭だけに任せる」のではなく、大人や地域、そして社会全体で支えあう仕組みが必要だと考えています。動物と共に生きることの喜びも、責任も、命の重さも、子供たちが安心して学べる環境を私たち大人が作っていく

べきではないでしょうか。そしてその一歩として、動物と触れ合う機会を、今一度社会の中に取り戻していきませんか。横浜市獣医師会は、動物とのふれあいを通じて、子供たちの健やかな成長と、思いやりある社会を築くために活動しています。

横浜市磯子区西町14の3  
神奈川県畜産センター内  
公益社団法人

横浜市獣医師会

